

壁紙施工要領書  
- メタリック壁紙② -

**【該当品番】(2013-2017WD)**

LY-14747・14748 (ホログラムフィルム)

**■特長**

---

- ・非常にフラットな材料であり、下地は拾いやすくなっています。
- ・表面にフィルムを貼っており、たたみジワやキズなどが付きやすい傾向があります。
- ・柄合わせは出来ませんので、ランダムにジョイントして下さい。

**■下地調整**

---

- ・下地面の不陸を非常に拾いやすいため、下地は出来るだけ平滑に仕上げるようにして下さい。
- ・ネジ、クギ類の頭には、サビ止めを施してください。(施工後の変色を防ぎます。)
- ・湿式下地(コンクリート打ち放し、モルタル等)の場合、十分に乾燥(水分率11%以下)していることを確認してください。未乾燥状態での施工は、アクによる壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。
- ・ケイカル板、粉ふき下地、ペンキ下地、化粧板、スチールパーテーションなど、接着性の悪い下地は、必ず下地側へシーラーを塗布してください。

**■接着剤**

---

- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水=10：7にエチレン酢ビ系ボンド10～20%程度を混合してください。
- ・糊付け機械は使用できますが、扱いの際に、つまみジワ等つけないよう注意して下さい。

## ■なで付け・ジョイント

---

- なで付けの際は、柔らかい刷毛やプラスチック製のスキージーに濡れたウェス等を巻いて使用してください。エア―抜きは少しやりにくいところがありますが、キズが付かないようていねいに作業を進めてください。
- 材料自体化粧裁ちしていますが、ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）にて納めた方がきれいに納まります。重ね裁ちを行う場合は、下地まで切り込まないようにしてください。目開きの原因となります。（壁紙と下地の間に下敷きを入れる、和紙テープを張り込む、といった注意が重ね裁ちの場合は必要です。）
- 出入隅がやや決めにくく、シワなどが出ることがあります。納めには充分注意してください。（R面施工も同様です。）
- 商品表面がフラットで、ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カッターの刃は薄刃のものを使用してください。

## ■その他

---

- この商品は、フィルムサイズの関係で有効幅が異なります。
- 冬期低温下では、接着剤や材料が固くなり、施工しづらくなりますので、なるべく室内を暖めてから（約15℃以上）施工するようにしてください。